

フレッシュセミナー（第13回SARTセミナー）開催報告

（社）埼玉県放射線技師会
総務常任理事 田中 宏

平成23年5月15日、埼玉県済生会川口総合病院で、（社）日本放射線技師会、（社）埼玉県放射線技師会合同主催にてフレッシュセミナーが開催されました。

参加者は44名で、内新卒者は34名でした。

本セミナーは技師会活動のアピールと新人教育を目的としたセミナーで、未入会者を対象としています。が、診療放射線技師であればだれでも受講できます。

プログラム内容は以下の通りです。

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. 技師会について（認定制度） | 田中 宏 |
| 2. 社会人としてのエチケット・マナー講座 | 中根 淳 |
| 3. 患者さんに優しい診療放射線技師 | 岡田 智子 |
| 4. 医療安全講座 | 佐々木 健 |
| 5. 感染対策講座 | 佐々木 健 |
| 6. 気管支解剖講座 | 富田 博信 |
| 7. 症例検討会 | |
| 乳房 | 岡田 智子 |
| CT・肺 | 城處 洋輔 |
| 消化器 | 大森 正司 |



症例検討会



講義

第13回SARTセミナーに参加して

埼玉医科大学総合医療センター 半澤 一輝



平成23年5月15日（日）埼玉県済生会川口総合病院にて開催された第13回SARTセミナーに参加し、技師会について、エチケット・マナー、接遇、医療安全、感染対策。また気管支解剖講座、症例検討会といった学術関係の基礎を受講しました。診療放射線技師になってまだ日の浅い私たちでもわかりやすく、多くのことを学ぶことができました。

技師会についての講義では、技師会主催の勉強会や研究会の説明、認定制度を利用し診療放射線技師としての技術を向上させることができること、技師会に入り勉強会に参加することで他の病院の方と交流を持つ機会が増え、情報交換がしやすくなるなど、いろいろなメリットがあるということを理解できました。また、SARTセミナーに参加するまでわからなかった会員の社会貢献のしかたや、職能団体と学術団体の違いも分かりやすく説明していただき理解できました。

社会人としてのエチケット・マナー講座では、恥ずかしながら受講するまでわからなかったエチケット・マナーがあり、診療放射線技師である前に社会人であることをもっと自覚しエチケット・マナーを学んでいかなければならないと痛感しました。特に印象に残ったのはビジネスメールでのエチケット・マナーでした。特例を除いて1通につき1テーマなど気にしていなければ忘れてしまいそうなマナーも学ぶことができました。

患者さんにやさしい放射線技師については、良い医療を提供するための接遇のポイントを教えていただき、日頃の自分は正しく患者様に接することができるかを確認することができました。またある診療放射線技師の患者様への対応について何がいけなかったか、またどうすべきかの問題点と解決策をグループに分かれ意見交換をしたとき自分一人では気付けなかった問題点、思い浮かばなかった解決策を聞くことができとても参考になりました。

学術関係の講座では学生時代になかなか覚えられなかったことや、理解することが難しかったこと、いろいろな症例に対する検討を簡単に頭に入るように教えていただき学ぶことの楽しさを再確認することができました。また、とても充実した内容の講座を受講させていただき、今後も技師会の勉強会等に参加することで多くの知識を学んでいきたいと思いました。

SARTセミナーを受講して患者様に「この人に検査してもらえてよかった」と思ってもらえる接遇を行い、勉強会等に積極的に参加し多くの知識を持ち、臨床の現場で生かせる診療放射線技師になりたいと思いました。そのためにも今回のSARTセミナーで得た知識を生かし、今後も技師会の勉強会などを利用しより多くの知識を吸収し、日々向上していきたいと思えます。

新人のためのフレッシューズセミナーに参加して

埼玉県立小児医療センター 放射線技術部 菅野みかり



今回、初めて技師会のセミナーに同僚2人と、参加させて頂きました。病院内だけでなく埼玉県全域の放射線技師が一体となり技術や知識を高め合っていこうという意欲が感じられました。セミナーは新人技師を対象としていたこともあり、新人として病院内に必要な作法や、今まで学んできたことの、より臨床的な内容を講義していただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、これから放射線技師として働いていくというモチベーションの向上にもつながり、これからもこういったセミナーに積極的に参加していこうと思いました。

セミナーの内容は、まず受付などでの電話対応の方法や病院内感染症対策として手洗いやガウンの扱いなどを教わりました。電話対応の仕方は学生時代には学ぶ機会がなく知らないことも多くとても役に立ちました。また、感染症対策についても病院内で教わった内容から更に深い内容を教えていただくことができこれからの業務に大変役立つ内容でした。

次に肺の解剖についての講義を受けました。この講義を受けるまでは肺の区域について曖昧な部分が正直多かったです。しかし、講義の方法は大学ではなかったとてもユニークな方法で、肺の区域をそれぞれ色分けして自分で描いたり、腕を伸ばしたり体操をしながら自分の体を使って、肺の区域や構造を覚える学習法はしっかりと身につけ、短い講義の時間内でも肺の区域を覚えることができました。いままで学生時代に曖昧にしてきてしまった事を改めて見直し身につけることができました。今後もこういった仕事内容に直結する学習法を学ぶことのできるセミナーや勉強会は、自分自身の技術や知識の向上だけでなく、社会人としての一般常識向上の為にも必要なのだと感じました。

また、他の病院の方々と一緒に話し合いや意見の交流をする機会もありました。意見の交流やコミュニケーションを取ることでこれからの仕事に対するモチベーションの向上にも繋がりました。同じ埼玉県内の新人技師としてこれからも多くの場で一緒に頑張りたいと思います。

今回の技師会のセミナーに参加させて頂き、いままで大学で学んできた内容は放射線技師として仕事をしていくにはまだまだ足りないことが多いということに気づくことができました。これからも自分自身を見直す機会として、技術や知識の向上を目指すためにもセミナーや勉強会に積極的に参加していきたいです。そして、将来は専門技師などの認定資格にも挑戦していきたいです。